

ビデオレビューについて

全国高体連空手道専門部審判部

大分選抜大会に続いて、本大会男女個人組手決勝戦、男女団体組手決勝戦において、ビデオレビューを導入します。以下説明をご一読ください。

1. 監督は、自校の選手の出した技について、その技が入っていると思うときにカード（赤・青）をあげることが出来ます。（相手の技については一切何も出来ません）
2. その技が入っていた場合（YES）は、主審は得点をコールし、カードは監督に戻されます。その場合、再びカードを使用することが出来ます。
3. 技が入っていない（NO）と判断された場合は、得点はコールされず、主審は続けて始めます。その際、カードは没収されます。
4. 選手の方から監督にカードを出してほしいという行為をした場合は、選手にはC 2の反則が与えられます。（主審のポーズは、唇に人差し指を立てる）ただし、技の判定はおこなわれます。監督の方から選手に尋ねるような場合も同様です。
5. 監督がカードを1度あげてしまった場合は、判定がおこなわれます。監督が、ガッツポーズをしたときに手にカードを持っていた場合も同様になりますので注意してください。